

特集1 ひと ち い き かがや 人がつながり、地域が輝く

地域の住民や地域の外からの人など、さまざまな人が地域との関わりを深めることが活力ある地域を実現するためには必要です。今回の特集では、地域づくりの現場で活躍する方々の思いと、その挑戦を後押しする県の取組について紹介します。

ち い き し ん こ う か
図 地域振興課
☎ 073-441-2371
☎ 073-441-2377

ち い き み り よ く つ た 地域の魅力を伝え、つなげる



豊かな自然に魅了され

以前は大阪市に住んでいて、知人の紹介ですさみ町を訪れたことが移住のきっかけです。実際に遊びに来た時に空気のおいしさや風景の美しさなど「めっちゃくちゃいい町だな」と感動しました。その後、役場の2週間の移住体験に娘と参加したところ、娘も町をとて

地域おこし協力隊員として

今年の4月から地域おこし協力隊として活動を始めました。現在は、周参見駅前の地域交流拠点「C-port」のオープン準備や、高齢者の方の集まりに参加して、地域の方に顔を覚えてもらうなど、町のいろいろな場所に出向いています。その集まりでは箏を演奏したのですが、92歳の参加者の方が「生で箏の演奏を聴いたのは人生で初めて」と喜んでくださいました。その方の長い人生の中で新しい「初めて」を提供できたことが本当に嬉しかったです。また準備を進めているC-portは、地域の方も地域外の方もフラッと立ち寄れる交流の場としていきたいと考えています。

すさみ町
地域おこし協力隊
たかはま あい
高濱 愛 さん

移住だけではないつながり

地域との関わり方は移住だけではないと考えています。大切なのはこの地域の魅力を多くの方に知ってもらうことです。

まずは「こんな素敵な場所があるよ」「気軽に遊びにおいでよ」と自分の周りの人たちへ伝えたいと思います。遊びに来た人が、また別の誰かに伝えてくれる。そんなふうに、口コミが少しずつ広がってつながりが生まれていけばと思います。



すさみ町地域未来課
みづかみ ちかと
水上 力仁 さん

「ファン」に さ さ ち い き 支えられる地域

これからの地域づくりに必要なのは、地域を応援してくれる「ファン」を増やしていくことだと思います。地域に定住する人口を増やすだけではなく、地域の外の方とゆるやかな関係性を築くことをめざしています。

例えば、教育旅行で町を訪れた学生に地域住民が「魚のさばき方」を教える。すると、教えたおじいちゃんが「次はいつ来るのかな」と次回を心待ちにする。こうした交流が「役割と出番」を生み、住民の日々の生きがいへとつながっています。

地域おこし協力隊員には、この町で自分の「好き」を突き詰めて活動してほしいです。その活動を通して、地域の住民と地域の外の方との「すき間」を埋め、つないでいく存在になってほしいと思います。



関係人口の創出をめざしています！

魅力ある地域づくりのためには、地域外に住みながら、継続的に地域と多様に関わる人々(=関係人口)が重要になっています。県では関係人口を創出するため、地域で活躍する人のネットワーク作りや交流拠点の整備などを支援しています。詳しくは4～5ページで紹介！

地域おこし協力隊とは？

都市部から移住し、地域のブランド作りや農林水産業のサポートなどの活動を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組です。

詳しくは
こちら



地域おこし協力隊員と地域の方々が親睦を深め、和やかな雰囲気にもまれた交流のひとつ

